

**農地局**

## 多面的機能支払交付金実務者研修を開催



6月23日（金）、制度等の理解及び実務能力の向上を目的に、市町・関係土地改良区・農林事務所の担当者を対象に多面的機能支払交付金実務者研修会を開催しました。

本研修会では、事務実務と取組実務について現場で豊富な経験をお持ちの磐田用水東部土地改良区小池次長と藤原係長に講師を務めていただき、全ての参加者から好評を得ました。

また、参加者を複数のグループに分け、本制度の普及・啓発に向けた課題と対応の検討をワークショップ形式で行い、最後にグループ毎に検討結果の発表を行いました。

本研修会は今年度から始めた新しい取組で、担当職員の実務能力の向上による、本制度の一層の普及展開を目指しています。今年度は12月に後期の研修を開催する予定です。



農地局農地保全課 054-221-2714

**賀茂**

## 【農地海岸】吉田海岸地区の樋門改修工事が完成

南伊豆町妻良にある「吉田海岸」は、特産のアロエを作る農地や宅地等（A=4.1ha）を津波や高潮の被害から守るため、賀茂農林事務所において、農地海岸として管理しています。

しかし、既存のゲートは手動によるスライドゲートであったため、津波・高潮時には、職員が開閉作業を行う必要がありました。

このため、令和2年度より、3基あるゲートを順次、自動開閉が可能なフラップゲートに更新する工事を実施し、令和5年6月に3基全ての改修が完成しました。

今後は、津波や高潮時にも安全な施設管理が可能となります。



着手前



着手後

賀茂農林事務所農村整備課 0558-24-2080

# 賀茂

## 松崎町那賀川の頭首工の魚道改修工事を行いました



松崎町的那賀川（なかがわ）において、農業用水の取水管理のために設置されている頭首工の、魚道改修工事が完了しました。

今回改修した山崎頭首工は、昭和27年に整備され、平成5年に災害復旧工事が行われています。

アユやズガニなどの生き物に配慮して魚道を整備していますが、長年の洗堀による河床の低下で段差ができてしまい、魚などの遡上が困難になっていました。

そこで今回、魚道の段差を解消するとともに河床の洗堀対策を行い、魚が遡上しやすいように改修を行いました。

賀茂農林事務所農村整備課 0558-24-2080



# 東部

## ほ場整備事業「小山棚頭地区」 地元役員会の開催

令和4年度に採択された、経営体育成基盤整備事業（小山棚頭地区）は、令和4年度からの測量業務が終了し、現在は、基本設計を行っています。

7月24日（月）に役員会が開催され、測量成果に伴う外周の確認・修正の報告や、道路や用排水路の配置案などについて、採択時の計画図面を基に役員と情報共有を行いました。

役員会では、現場での測量の立ち会い時のご要望等をはじめとする地域の方々のご意見を踏まえ、道水路の配置図の見直しを行いました。

今後、地区全体に向けて、基本計画の図面を提示する予定です。



東部農林事務所農地整備課 055-920-2166



## 中部

## 台風15号農地災害復旧事業の取組成果を発表



7月7日（金）に「静岡県建設コンサルタンツ協会」主催の「第18回技術研究発表会」が開催され、中部農林事務所農業土木職員が特別枠で取組成果を発表しました。

「令和4年9月の台風15号災における農地・農業用施設災害復旧事業の取組」と題した発表では、災害復旧対応について、国の復旧事業の申請には、現地測量や復旧計画の設計を短期間で完了する必要があることから、今回新たな取組として、UAV（ドローン）や県が公開している3次元点群データを活用し、測量や設計作業を効率、省力化して行うことができた成果を報告しました。

豪雨による災害リスクが年々高まる中、情報通信技術の活用が、今後の迅速かつ確かな災害復旧に役立っていくことを期待します。

中部農林事務所農地整備課 054-286-9271

## 西部

## 在来種のみを使った植生マットを使用 【ため池群馬込川地区（西ノ谷奥池）】

県営ため池群整備事業ため池群馬込川地区では、4つの池（西ノ谷奥池、蛭沢池、新池、夜水沢池）の耐震対策事業を実施しています。

その中で、西ノ谷奥池は、静岡県立森林公園内にあり、自然豊かな農業用ため池となっています。

通常、植生シート・植生マットは、外来種が混じっているものが多いのですが、西ノ谷奥池では、自然に配慮し、全て在来種で出来た植生マット・植生シートを使用しました。

日当たりも良く、環境も優れているため、植生がとても映えています。

これからも、景観配慮を意識した農業農村整備事業を実施していきます。



西部農林事務所農地整備課 053-458-7228